



- ・ 食の大切さと尊さを伝えるまちづくり
- ・ 四季の変化を感じた、スポーツを通じたまちづくり
- ・ 歴史を重んじた地域連携のまちづくり
- ・ さっぽろの魅力を伝えるまちづくり

「雪印メグミルクスポーツ振興寄付金」に伴う子ども用ヘルメットを贈呈

当社は2021年から2030年の10年間、「雪印メグミルクスポーツ振興寄付金」を札幌市へ寄付することとしておりますが、6月30日に札幌市役所において佐藤社長から秋元市長に子ども用ヘルメットを贈呈しました。

社長の佐藤より「昨年よりスポーツ振興寄付金事業を開始し、子どもたちの体験にお役立ていただくため今回贈呈しました。今年度以降も札幌市との取組を継続していきたい」と秋元市長に伝えました。

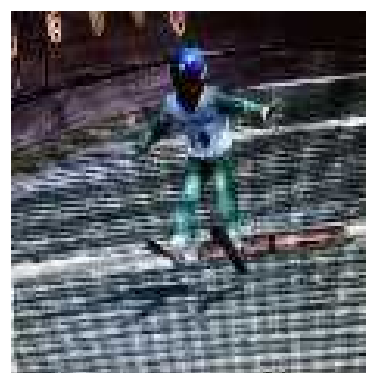
当日は札幌市のまちづくり活動を支える「さぽーとほっと基金」への寄付および、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に従事する札幌市保健所職員への支援物資の寄付への取組に対して、秋元市長から佐藤社長へ感謝状が授与されました。



第12回雪印メグミルク杯ジュニアサマージャンプ大会を開催しました

8月3日、札幌市荒井山シャンツェにて「第12回雪印メグミルク杯ジュニアサマージャンプ大会」を開催しました。全国各地から小学1年生から中学3年生までの85名が集結し、北海道大会5大会の最終戦となる、本大会では、総合優勝を目指し、熱戦が繰り広げられ会場は大いに盛り上がりました。

また、参加した選手や家族に向けて「スポーツ食育セミナー」動画をオンデマンド配信し、未来の日本代表選手たちに「食の大切さ」と「メンタルの整え方」を伝えました。



札幌市健康増進に関する約20の区イベントにLL牛乳などを提供いたしました

①中央区Cスポーツパーティに協賛しました

8月7日、北ガスアリーナ札幌46で開催された「中央区Cスポーツパーティ」に協賛しました。
これは小学生低学年とその親を対象に、遊びや運動プログラムを提供する体験型スポーツイベントで、パネル展示やクイズ、動画上映などにより健康づくりをPRします。当社はイベント参加者へのLL牛乳の提供や、骨の健康度チェックを行いました。



②北区カラダにえ〜よ〜展に協賛しました

6月4日、北大医学部図書館で開催された「北区カラダにえ〜よ〜展」に協賛しました。
これは北大祭の期間中に北大と北区協働で健康イベントを行い、体組成計の測定を中心に自分の体に関心を持っていただくもので、学生や親子連れを中心に幅広い年代の来場がありました。
当社は来場者の方にLL牛乳を提供いたしました。



さぼーとほっと基金への寄付について

2014年から継続して、当社「酪農と乳の歴史館」への年間の入場者数に応じた金額を「さぼーとほっと基金」に、今回で9回目の寄付をし「子どもの健全育成を図る活動」に活用いただいております。





- ・文化、芸術活動等を通じたまちづくり
- ・環境保全活動を通じたまちづくり
- ・食と健康を通じたまちづくり
- ・子どもたちの成長を応援するまちづくり

1 「そらのひろば ステラ9」の開場

2018年度オープンした、札幌ステラプレイスセンター9階屋上の「そらのひろば ステラ9」は、4月29日(金祝)～10月31日(月)の期間開場いたしました。地域のコミュニティスペースとして、今年度より毎日お子様が遊べるコンテンツを設置して、約6万人が来場されました。

各イベントにおいて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場時の検温及び北海道コロナ通知システムの案内を行い、密にならないように配慮いたしました。

夏休みのイベントには、未就学児から小学生向けに、SDGs人力発電トレインを始め、SDGsスゴロクなど「遊んで学べるSDGs」をテーマに展開し、期間中約7,700名が来場されました。



2 「そらのガーデン」の開園

環境保全活動の一環として、屋上空間を緑の潤いで憩う魅力的な庭園にしたいとの思いから、2011年9月、エスタ屋上に「そらのガーデン」がオープンしました。今年も、4月23日～10月16日まで開園し、43,564名が来園しました。7月30日には、今回で9回目となるあそびイベント(3歳から小学生まで対象)、「にんにんどろ～んにんじゃでござる～きみはスーパーにんじゃになれるかな?～」の開催により、「風」を使った演出を楽しんでいただきました。



3 「JRタワーのなつやすみ SDGsひろば」の開催

夏休み期間中の7月23日(土)～8月7日(日)、「JRタワーのなつやすみ SDGsひろば」を開催致しました。SDGsを学べる展示と、ワークショップを行い、SDGsを体験できる場所を提供いたしました。



4 「ハッピーフラッグ2022」の開催

札幌市内に在学する小学生以下の子どもたちを対象として、フラッグに動物の絵を描くアートイベント「ハッピーフラッグ2022」は、今年も札幌市円山動物園との共同事業によって開催されました(今回で16回目)。応募された1,169点の作品は、3月6日～3月31日までの期間、JRタワー1階東・西コンコース、地下1階東・西通路の4箇所に展示され、たくさんの動物たちが、行き交うお客様の目を和ませました。学年層別にそれぞれ優秀作品を選出し、3月19日に実施した表彰式で各種の賞が授与されています。



5 その他の取り組み

(1)「JRタワーおとな大学」の開催

一般的なカルチャースクールとは異なる単回完結型の公開講演で、北海道にゆかりのある講師を招き、2013年4月より各回定員200名で隔月(偶数月)に開催(過去42回)。2020年度より、3ヶ月に一回の開催(6月・9月・12月・3月)となりました。(12月に第53回の講演を開催)

(2) アート作品「コインズ」にご支援いただいた募金の寄付

JRタワー開業時の2003年に、JRタワー計画「世界にひろがる北の窓」の国際コンペで選出された作品。野生動物保護の社会的問題をアートで解決したい作者の願いが込められており、アート(シマフクロウ・ゼニガタアザラシ・エゾヒグマ)にコインを投入して募金していただくものです。

2021年10月、173千円を札幌市円山動物園に寄付。(14回目)

2022年3月、179千円を公益財団法人 北海道新聞野生生物基金に寄付。(25回目)

(3)「JRタワー展望室T38」への招待とT'CAFEソフトドリンクをプレゼント

3月に市内児童養護施設等の378名へ、T'CAFEソフトドリンク付きの招待券を寄贈。(今回で19回目)

(4)「児童養護施設」への寄贈

毎年、3月に市内児童養護施設の150名を札幌ら〜めん共和国へ招待(過去14回)していましたが、近年、新型コロナウイルス感染拡大の影響により招待は中止しております。代替策として各児童養護施設へは、お土産ラーメン・お菓子をお送りしております。

(5)夏の「JRタワー子ども見学会」の代替施策の実施と春の「JRタワー子ども見学会」の実施(予定)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により夏の「JRタワー子ども見学会」を中止し、小学校を経由して配布している環境教育情報紙「エコチル」(フリーペーパー)の小学校・札幌版にて、7月に懸賞付きクロスワードパズル「JRタワーを学んでクロスワードパズルに挑戦!!〜そらのガーデン〜」を実施、2023年3月は春の「JRタワー子ども見学会」を実施予定。

(6)パシフィック・ミュージック・フェスティバル2022(PMF)への協賛

JRタワー内デジタルサイネージ6箇所、PMFの開催情報を発信。

(7月3日(日)~7月16日(土)14日間実施、過去5回)

(7)「サツエキテラス」の開催

札幌駅南口駅前広場に無料で開放する憩いの広場をオープン。札幌市環境局都市推進部様ご協力のもと、「観光中も出来るSDGsアクション」ステッカーを設置して、利用される方にSDGsを訴求。また、新たに芝生エリアを増設して、より快適にくつろげる空間を提供いたしました。

6月24日(金)~7月31日(日)までオープンし、約22,000名以上が利用。(今回で7回目)

(8)「エキヒロイルミネーション」の開催

札幌駅南口駅前広場を冬季間イルミネーションで装飾。今年度は昨年を引き続き、「北海道の文化発信」をテーマに演出。

今冬季は、2022年11月22日(火)~2023年3月14日(火)の期間で開催。(今回で7回目)

(9)「アートボックス2022」の開催

「アートボックス」は、駅隣接という公共性から芸術・文化の醸成する場の創造を目指し、北海道にゆかりのある新人アーティストに新たな発表の場を提供することを目的に、2009年から公募優秀作品など4作品を3カ月ごとに展示し、JRタワーのパブリックな空間を行き交うお客様にアートを楽しんでいただいております。





- ・観光振興を通じたまちづくり
- ・スポーツに親しみ、誰もが生き生きと暮らせるまちづくり
- ・産業振興、人材育成、教育を通じた活力あふれるまちづくり
- ・地域の安全・安心、災害対策を通じたまちづくり
- ・環境に配慮したまちづく

NTT グループの北海道における取組みのご紹介

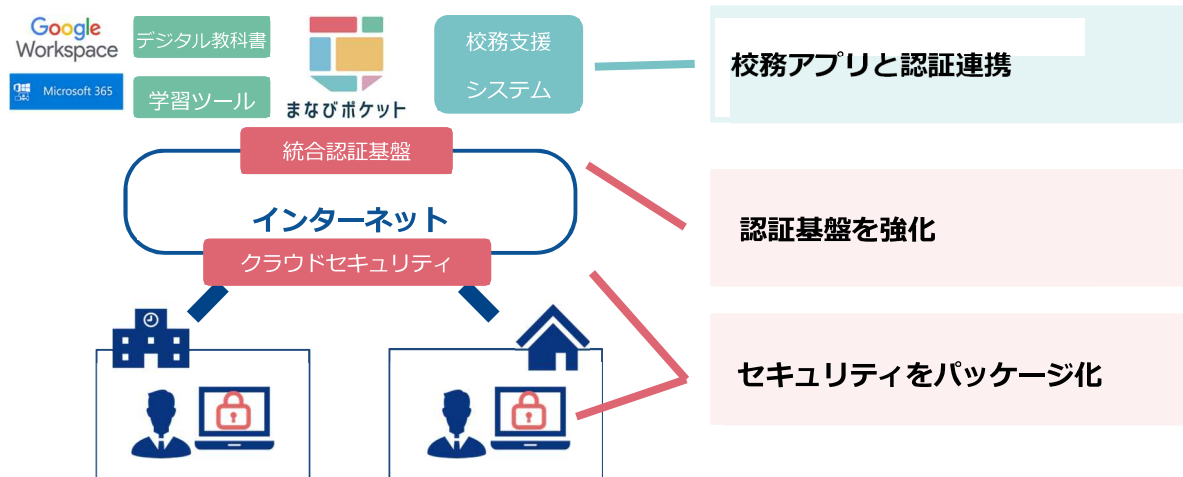
■まなびポケットが目指す将来像と北海道での活動



文部科学省 CBT システム (MEXCBT) をはじめ、各種学習教材への児童・生徒の学びの入り口となる学習 e ポータルとして提供している「まなびポケット」。サービス提供開始から 5 年を迎え、全国では 9,000 校以上の学校でご利用いただいております。北海道では **179 自治体中 79 自治体、全道約 36 万人中 24 万人の児童・生徒にご利用**いただいております。(2022 年 11 月現在)

現在、ゼロトラストセキュリティによる校務支援システムの導入がトレンドとなると見込まれており、まなびポケットの認証基盤を拡張してリスクベース/多要素認証を提供、パッケージ化も予定しています。

校務システムとの連携イメージ



一人一台の端末が整備されて以降、さらなる利用促進に向け「先生に寄り添いエンパワーする学習 e ポータル」として、まなびポケットは日々進化しています。

校務系システムとのデータ連携につきましては 12 月 16 日(金) 14:00~16:40 開催の教育 ICT フォーラムにて詳細を講演させていただきます。

■ ネット安全教室



パソコンや携帯電話でインターネットを使う子どもたちが増えるとともに、ICT時代ならではのトラブルも増加しています。トラブルを防ぐためには、子供たち自身のスキルアップや知識の習得が求められています。NTT東日本では2006年度下半期よりCSR活動の一環として「次世代のICT会社を担う人材の育成」を掲げ、社員が東日本地域の小学校などへ講師として伺いし、インターネット上のコミュニケーションのしかた、マナーをテーマにした出張授業「ネット安全教室」を継続的に開催しております。今年度、道内では3校実施し、うち1校は札幌市立南郷小学校で開催させて頂きました。



■ 障がい者の活躍推進



NTTクラリティ株式会社は、創立19年目を迎えるNTTグループの特例子会社です。社員数は478名※（うち障がい者360名）です。「社員一人ひとりの働き甲斐（輝き）を通して、バリアのない豊かな社会の実現に向け貢献します」の企業理念のもと、健常者・障がい者の区別なく共に働くためにさまざまな工夫やお互いにサポートを行いながら、全国7拠点で活躍しています。

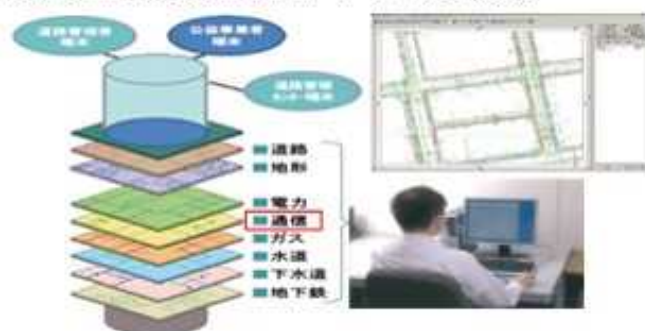
札幌市での事業は、2012年4月から開始し、その後2016年、2020年にわたる業容の拡大とともに、障がい者の雇用を拡大し、現在では103名（うち障がい者88名）の社員が働いています。

主な事業としては、NTT東日本からの受託業務（札幌市道路管理システム等の電気通信設備保守関係業務や、通信機器保守サービスに関するお問い合わせ対応、総務関連業務、等）などを行っております。また、サステナビリティ推進活動として、札幌市に拠点を置く企業や就労移行支援事業所などからの職場見学などにお応えしているほか、さまざまな地域イベントにも参加しております。

当社は今後とも、障がい者の雇用機会を拡大しつつ、地域社会と連携して共生社会の実現に向け積極的に事業を展開してまいります。

※社員数は2022年6月1日現在

■ 札幌市道路管理システム（通信）データベース登録業務



■ さっぽろレインボープライド2022 パレードに参加





- ・雇用や産業の活性化につなげるまちづくり
- ・誰もが暮らしやすい安全で安心なまちづくり
- ・未来の社会をつくる子どもたちや青少年を支えるまちづくり
- ・環境に配慮し、緑化を進めるまちづくり

【持続可能な豊かさのために】

さっぽろエコメンバー登録企業として

- ・気候変動問題に大きな影響を与えるCO2の排出削減
スマートセンサーを全店導入して消費電力の見える化を実施しており「お店のみんなで実行」「今すぐできる環境対策」を進め省エネへの取り組みや太陽光発電所からの電力調達を行っております
- ・食品ロスの削減
安全安心をそのままに美味しさを長持ちさせる商品開発・イノベーションに取組み、「すぐ食べるなら手前から取ってね」と消費者の購買行動に訴え、地域や社会と共に食品ロスの削減に取り組んでおります
- ・配送方法や配送車両なども見直して環境への負担を軽減
お店への商品配送回数を創業当初の1/7に減らしCO2排出量を大幅に削減
コンビニ3社との共同配送のテスト実施などに加えて、電池や水素車両も導入し、物流の効率化と環境への負荷低減を推進しています



未来を担う子供たちへ

- ・出張授業の実施
未来を担う子どもたちに“生きる力”を育んでもらうために出張授業を実施
未来世代との双方向コミュニケーションをし、未来に向けた取組を実施しています





アイングループ

- ・ 大規模災害発生時に市民の健康を守るまちづくり
- ・ 誰もが生き生きと健康で安心して生活できるまちづくり
- ・ 未来を担う子どもや子育て家庭を応援するまちづくり
- ・ 観光振興や国際化の推進による魅力あるまちづくり

■ 新型コロナ感染拡大防止に向けて

(薬局でのPCR・抗原検査体制の維持・拡充)

2022年新型コロナ感染の第6波、7波拡大防止に向け、抗原検査キット等の調達、薬局における検査及び販売、また臨時抗原検査場の設置などを実施しました。今後も継続して市民の健康を守るまちづくりに貢献してまいります。



■ スポーツを通じての貢献

(北海道日本ハムファイターズ)

北海道の小学生・中学生チームをスポンサーゲームへ招待し、始球式などのセレモニーを行っています。本年は、4月9日に東16丁目フリッパーズ、9月17日に札幌新琴似リトルシニア球団を招待して札幌ドームで開催いたしました。



(北海道コンサドーレ札幌)

アインフレンドシートを設置し、年間3試合、障がい者施設の方々を無料で招待しておりましたが、昨年に引き続き本年も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ご招待は中止いたしました。

■ 音楽を通じての貢献

(2022年パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)への協賛)

1990年に札幌に創設された国際教育音楽祭であるPMFへ、本年もメインスポンサーのうちの1社として協賛をいたしました。

■ ピンクリボン in SAPPORO

(ピンクリボン in SAPPORO 2022への協賛)

乳がん検診向上や乳がん経験者や患者様、市民の皆さんの交流の場づくりを目指す団体である「ピンクリボン in SAPPORO」が主催する啓発イベントに協賛し、乳がん検診向上、早期発見の呼びかけに協力しました。

あいおいニッセイ同和損保

- ・ 災害につよいまちづくり
- ・ 地域の安全・安心と自然環境保護を通じた人と環境にやさしいまちづくり
- ・ 誰もが安全・安心にらせるまちづくり
- ・ 輝く未来の子どもたちを応援するまちづくり

・災害につよいまちづくり

新型コロナが流行する中、札幌市内の事業者様向けにオンラインによる「コロナ禍における労務リスク対策セミナー」「SDGs経営実践セミナー」など無料 WEB セミナーを実施。地震・水災時における BCP に加え、コロナをはじめとした感染症に対しての BCP 策定のサポートや、当社テレマティクス技術を活用した ESG 取組支援を紹介いたしました。



・地域の安全安心と自然環境保護を通じた人と環境にやさしいまちづくり

当社では、お客様がペーパーレス証券・Web 約款を選択された件数に応じて、NPO団体や地方公共団体等への寄付を行っております。札幌市の「さっぽろ圏人材育成・確保基金」へ寄付を行い「みんなの気候変動 SDGsゼミ・ワークショップ」活動に活用いただきました。

・誰もが安全・安心にらせるまちづくり

全国地方創生交流会を開催。各市町村の脱炭素化社会の実現に向けての取組や CSV×DX による安全安心なまちづくりの好取組事例と当社地方自治体様向け支援メニューをご紹介させていただきました。WEB 形式で実施し、さっぽろ連携中枢都市圏の自治体にも参加いただいております。

・輝く未来の子どもたちを応援するまちづくり

札幌市まちづくりセンターと連携し、年 4 回のこども見守り活動と自転車安全運転運動に参加しました。延べ 30 人の社員と代理店が街頭に立ち、地域の小学生の登下校を見守り、自転車の正しい乗り方をレクチャーしました。





- ・ 健康づくりを通じたまちづくり
- ・ 災害に強い安全・安心なまちづくり
- ・ 雇用や産業の活性化につなげるまちづくり
- ・ 身近な暮らしの安全・安心に取り組むまちづくり

◆「札幌市禁煙施設」に登録

サツドラでは、健康増進法に基づく受動喫煙対策に積極的に取り組んでおり、全事業所を敷地内禁煙としています。

これからも、全ての方に望まれない受動喫煙を生じさせない「受動喫煙ゼロ」の実現を目指し、受動喫煙防止対策を推進して参ります。

→札幌市の禁煙施設登録先

サツドラホールディングス(株)や(株)リージョナルマーケティング、
また(株)シーラクスを含む88事業所が登録。

※2022年7月19日現在



◆新型コロナウイルス感染症に関する対応として、市内店舗内にポスターを掲示

社会インフラとして店舗が感染拡大に留意しながら営業活動を行う一方で、
万が一の際の啓蒙ポスターの掲示に協力しています。

※掲示：札幌市内OTC店舗と独立調剤薬局



◆冬期間の転倒防止に、「砂まき用砂袋」を店頭に配置

冬期間、歩道などでの凍結路面により自己転倒事故が多発します。

サツドラでは、歩道や店頭での転倒防止に対し、札幌市や北海道などの行政と協働で転倒防止のための砂まき用砂袋を配置し、運用して転倒予防に協力しています。

※配置・運用：一部の札幌市内OTC店舗と独立調剤薬局

◆身近な暮らしの情報を発信

自社のホームページに「連携自治体からのお知らせ」を設け、
毎月発行される「広報さっぽろ」を閲覧できるようにしました。





- ・市民に寄り添い、触れ合いあふれる豊かなまちづくり
- ・身近な地域の安心・安全を支えるまちづくり
- ・災害に備える安心なまちづくり
- ・子どもの健やかな成長を支えるまちづくり

◆ 「札幌市制 100 周年」に関する協力

- ①チラシ及びポスターを札幌市内 ②札幌市内の郵便ポストへステッカー貼付 ③オリジナルフレーム切手の発売
郵便局に設置
(2022 年 6 月) (2022 年 7 月～9 月) (2022 年 7 月)

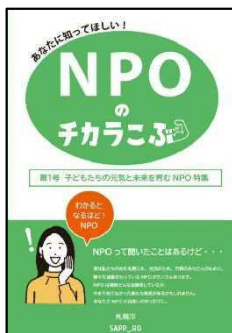


◆ 札幌市イベント情報冊子を札幌市内郵便局に設置

2018 年から、札幌市内郵便局で、札幌市内各地域のイベント情報をまとめた冊子を設置しています。
市民の方から「近くにある郵便局で受け取れるので、とても助かる」等の声をいただいています。



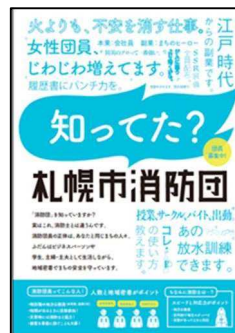
◆ その他ポスターやチラシを札幌市内郵便局に設置



「NPOのチカラこぶ」パンフレット (2022年5月～8月)



「医療従事者をはじめとした
エッセンシャルワーカーへの
感謝応援券」ポスター
(2022年7月～2023年3月)



「札幌市消防団集」ポスター・
リーフレット
(2022年10月～12月)



「元気ショップ等情報」ポスター
(2022年10月～11月)

◆ 砂まき活動の実施

2016年から、札幌市内郵便局で、路面凍結による市民の転倒防止のため、滑り止め材(砂)を郵便局近辺の歩道や横断歩道に散布し、地域の安全を支えるまちづくりを実践しています。

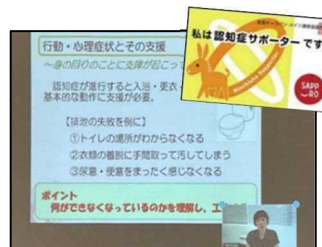
市民の方からは「注意して歩いても転倒するので、砂をまいてくれると安心する」等の声をいただいています。(例年12月～3月下旬実施)



◆ 認知症サポーター養成講座の開催

2015年度から、北海道内郵便局社員を対象に、認知症の正しい知識や適切な対応を身につけ、認知症の方やご家族の皆さまに安心して郵便局をご利用いただけるよう、認知症サポーターの養成に取り組んでいます。

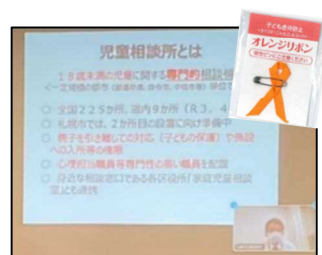
2022年度は7/26～27Webで開催し、200名の社員が受講しました。



◆ オレンジリボン地域協力員研修会の開催

2018年度から、札幌市内郵便局社員を対象に、子どもの見守りや児童虐待の早期発見・早期対応に向け、子どもの健やかな成長を支えるまちづくりの一環として、札幌市児童相談所と連携し、オレンジリボン地域協力員の養成に取り組んでいます。

2022年度は8/9～10Webで開催し、170名の社員が受講しました。



◆ 地域見守りサポーター養成研修の開催

2018年度から、札幌市内郵便局社員を対象に、高齢者や障がい者の異変を発見した場合に情報提供を行う地域活動の知識を深めるため、札幌市社会福祉協議会と連携し、地域見守りサポーターの養成に取り組んでいます。

2022年度は8/24～25Webで開催し、218名の社員が受講しました。



◆ 道路損傷、不法投棄を発見した場合の情報提供

業務中、道路走行に支障をきたす状態を発見した場合、また不法投棄と思われる廃棄物を発見した場合の情報提供及び車両へ不法投棄防止に関するステッカーを貼付し周知活動を行っています。



◆ 災害時の協力

災害時における防災協力協定に基づき、災害時の緊急車両等としての車両提供、被災者の避難所開設状況及び避難者リスト等の情報の相互提供のほか、郵便局ネットワークを活用した広報活動を行います。

◆ 「こども110番」の実施

郵便局に救助を求めてきた子供の一時保護や110番通報による警察への連絡等の一時的措置をとる避難場所として提供し、子供に関する事件・事故を未然に防止する取組を支援しています。



今後も、札幌市とさっぽろまちづくりパートナー協定に基づき、緊密な連携を図り、札幌市の一層の発展と地域の活性化に寄与できるよう取り組んでまいります。